

授 業 科 目 名	特別支援教育 (Special Needs Education)		
科 目 番 号	9606111	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	火曜・6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	○小林 秀之, 米田 宏樹, 鄭 仁豪, 左藤 敦子, 小島 道生, 川間 健之介, 竹田 一則, 宮本 昌子, 野呂 文行, 岡崎 慎治, 三益 亜美		
オ フ ィ ス ア ワ ー	オーガナイザー 小林秀之 水曜日 9:00—10:00		
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。</li> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。</li> <li>・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</li> </ul>		
授 業 の 概 要	我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第1回:特別支援教育及びインクルーシブ教育の制度と理念 障害はないが特別な支援の必要のある児童・生徒への支援(担当:米田宏樹)</p> <p>インクルーシブ教育システム 就学指導と教育措置 学校教育法と特別支援教育制度 特別支援教育の動向と展望</p> <p>第2回:視覚障害児の教育(担当:小林秀之)</p> <p>視覚障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第3回 聴覚障害児の教育(担当:鄭仁豪)</p> <p>聴覚障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第4回 知的障害児の教育(担当:小島道生)</p> <p>知的障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第5回 肢体不自由児の教育(担当:川間健之介)</p> <p>肢体不自由の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第6回 病弱・身体虚弱児の教育、アレルギーのある子どもの理解(担当:竹田一則)</p> <p>病弱・身体虚弱の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法 アレルギーのある子どもの理解</p> <p>第7回 言語障害児の教育(担当:宮本昌子)</p> <p>言語障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第8回 自閉症・情緒障害児の教育(担当:野呂文行)</p> <p>自閉症・情緒障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第9回 注意欠陥多動性障害児の教育(担当:岡崎慎治)</p> <p>注意欠陥多動性障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>第10回 学習障害児の教育(担当:熊谷恵子)</p> <p>学習障害の理解 その特徴と学びの場 教育の内容と方法</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	定期試験(100%)により評価する。		
テ キ ス ト	<p>小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>中学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>小学校学習指導要領解説 総則編(平成 29 年 7 月)</p> <p>中学校学習指導要領解説 総則編(平成 29 年 7 月)</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成 29 年 4 月告示)</p> <p>小林秀之・米田宏樹・安藤隆男編著『特別支援教育 -共生社会の実現にむけて-』ミネルヴァ書房, 2018.</p>		
参 考 文 献	授業中に提示する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	テキストを用いた予習と授業時の配布資料等による復習、授業中に出了トピックについて主体的な調べ学習。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	教壇に立った時に、特別なニーズのある児童生徒は必ず教室にいます。自覚をもって主体的に学習してほしい。		
備 考	旧課程の障害児指導法に対応。		

授 業 科 目 名	特別支援教育 (Special Needs Education)		
科 目 番 号	9606211	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 AB	曜 時 限	金曜・6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担当教員 (連絡先)	○米田 宏樹(hyoneda@human.tsukuba.ac.jp), 小林 秀之, 鄭 仁豪, 左藤 敦子, 小島 道生, 川間 健之介, 竹田 一則, 宮本 昌子, 野呂 文行, 岡崎 慎治, 三益 亜美		
オフィスアワー	オーガナイザー 米田宏樹 金曜日 11:30-12:30		
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。</li> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。</li> <li>・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</li> </ul>		
授 業 の 概 要	我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒児の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第1回: 特別支援教育及びインクルーシブ教育の制度と理念 障害はないが特別な支援の必要のある児童・生徒への支援(担当:米田宏樹)</p> <p>インクルーシブ教育システム 就学指導と教育措置 学校教育法と特別支援教育制度 特別支援教育の動向と展望</p> <p>第2回: 視覚障害児の教育(担当:小林秀之)</p> <p>視覚障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第3回 聴覚障害児の教育(担当:左藤敦子)</p> <p>聴覚障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第4回 知的障害児の教育(担当:小島道生)</p> <p>知的障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第5回 肢体不自由児の教育(担当:川間健之介)</p> <p>肢体不自由の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第6回 病弱・身体虚弱児の教育、アレルギーのある子どもの理解(担当:竹田一則)</p> <p>病弱・身体虚弱の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法 アレルギーのある子どもの理解</p> <p>第7回 言語障害児の教育(担当:宮本昌子)</p> <p>言語障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第8回 自閉症・情緒障害児の教育(担当:野呂文行)</p> <p>自閉症・情緒障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第9回 注意欠陥多動性障害児の教育(担当:岡崎慎治)</p> <p>注意欠陥多動性障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>第10回 学習障害児の教育(担当:熊谷恵子)</p> <p>学習障害の理解 その特徴と学びの場 教育の content と方法</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	定期試験(100%)により評価する。		
テ キ ス ト	<p>小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>中学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)</p> <p>小学校学習指導要領解説 総則編(平成 29 年 7 月)</p> <p>中学校学習指導要領解説 総則編(平成 29 年 7 月)</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成 29 年 4 月告示)</p> <p>小林秀之・米田宏樹・安藤隆男編著『特別支援教育 -共生社会の実現にむけて-』ミネルヴァ書房, 2018.</p>		
参 考 文 献	授業中に提示する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	テキストを用いた予習と授業時の配布資料等による復習、授業中に出了トピックについて主体的な調べ学習。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	教壇に立った時に、特別なニーズのある児童生徒は必ず教室にいます。自覚をもって主体的に学習してほしい。		
備 考	旧課程の障害児指導法に対応。		

授 業 科 目 名	特別支援教育 (Special Needs Education)		
科 目 番 号	9606411	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	月曜・4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育専門学群限定		
担 当 教 員 ( 連 絡 先 )	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する。</li> <li>・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。</li> <li>・障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</li> </ul>		
授 業 の 概 要	<p>我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒児の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。</p>		
授 業 計 画	<p>授業計画</p> <p>第1回: 特別支援教育及びインクルーシブ教育の制度と理念(担当: 齊藤まゆみ)</p> <p>第2回: 障害児指導の実際(1)アダプテッド体育・インクルーシブ体育(担当: 齊藤まゆみ)</p> <p>第3回: 障害児指導の実際(2)視覚障害児の教育(担当: 齊藤まゆみ)</p> <p>第4回: 障害児指導の実際(3)聴覚障害児の教育(担当: 齊藤まゆみ)</p> <p>第5回: 障害児指導の実際(4)肢体不自由児の教育(担当: 齊藤まゆみ)</p> <p>第6回: 障害児指導の実際(5)知的障害児の教育(担当: 澤江幸則)</p> <p>第7回: 障害児指導の実際(6)自閉症・情緒障害児の教育(担当: 澤江幸則)</p> <p>第8回: 障害児指導の実際(7)注意欠陥多動性障害児の教育(担当: 澤江幸則)</p> <p>第9回: 障害児指導の実際(8)障害はないが特別な支援の必要のある児童・生徒への支援(担当: 澤江幸則)</p> <p>第10回: 今後の課題と展望(担当: 澤江幸則)</p>		
成 績 評 価 方 法	授業内課題		
テ キ ス ト			
参 考 文 献	<p>藤田紀昭・齊藤まゆみ 編著(2017)これからのインクルーシブ体育・スポーツ—障害のある子どもたちも一緒に楽しむための指導 ぎょうせい。</p> <p>齊藤まゆみ 編著(2018)教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学 大修館書店。</p> <p>中学校学習指導要領解説 保健体育編(平成 29 年 7 月)</p> <p>高等学校学習指導要領解説 保健体育編(平成 30 年 7 月)</p> <p>特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成 29 年 4 月告示)</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の障害児指導法に対応。		